



# TOKYO PRACTICE

For ADULT ONLY

Presented by NikuRingo (Beef&Apple) 2008/08/17 In Summer of Comiket

成人向  
同人誌

# ☆TOKIO PRACTICE☆

FOR EXCITE-ING ADULT ONLY

PRESENTED BY NIKURINGO (BEEF&APPLE)

2008/08/17 IN SUMMER OF COMIKET

☆はじめに☆

どもども兄弟です。

さて今回のオフセット本

「東京PRACTICE」

ですが、前回オフセット「東京夢のオーケストラ」同様、  
タイトルの枕に「東京～」という枕が付いていて、兄が  
メインで仕切った本となっています。

んでタイトル後半の「PRACTICE(プラクティス)」  
は『練習』といった意味合いでつけていて、まあ毎回  
モノ作りに悩んじゃってるんで、いっちょ習作のつもりで  
試験的にやってみるか、てな感じで企画してみました。

本編は「Nippon女Heroine」シリーズの後半、イラスト&  
テキスト部分のスタイルを基本に、イラスト差分を使った  
CD集的な、変化進展を紙面で試してみました。

思ったから一やってみよう、てな感じで。

で、今回のジャンルは「絶対可憐チルドレン」です。

基本設定が萌えモノっぽかったんで、兄的にちよいと避け  
てた部分があったんですが、視聴したら、かなりツボに入  
ったモノで☆

ま、何にせよサクッと気楽に読んで、またひとつ違った形  
の兄弟テイストを楽しんでいただければナ～と思います。

ほんじゃまたあとがきで☆

カクガリ兄弟

2008/08/17

(今年はアニメにしろ特撮にしろ、大手以外で思わぬ伏兵  
が現れる年だなぁ～と感じてマス)

超能力支援研究局「BABEL(バベル)」

その局長室の奥には、局長と数名のエスパーのみが入室を許された「極秘資料室」があった。  
その局長専用のノートパソコンには…

『あんっおっちゃんのツ・おっきいの入ってくるうっ！ はあっつ☆』

『あっ局長っ…そんな汚いコ…舐めちゃダメですっ…ああんっ♪』

(あかんで…薫も紫穂もこないイヤらしいコトして…こないイヤらしい声あげて…)

「コラコラ葵クン、他人の極秘記録を勝手に覗き見ちゃダメじゃないか…」



「きよ、局長はん!？」

「しかも、机の角に股間をこすり付けてオナニーとは… 優等生だと思っていたら、とんだ悪い子だな、キミは」

「ちがうんや、ウチちょっとだけ、他の皆がどないなコトして… 局長はんには可愛がられてるのが知りたくて、つい…」

「友達のハメ撮り記録見たら… つい興奮して、机の角でオナニーをはじめてしまった訳かい？」

「そ、それは……」

「良いヨ、キミ達特務エスパーの欲求不満が溜まっては、力が暴走しかねない…  
こういうガス抜きは必要だからねえ。今日は特別に… 他の二人の記録を見せてあげよう☆」

「ええっ!？」

『どれどれ… 最初の動画は薫クンのだね』

「んっ…ああんっ♪」

「ほーら入った、最初はゆっくりゆっくり出し入れしてっど…」

「あっ…おっちゃんっ…じらすなよお…あ…あんっ♪」

「ん～ 相変わらず薫クンのオマンコはキツキツだねエ…ほら、ちっちゃなオマンコがこんなに開いちゃって…ふっといチンポが出入りしてるの…見える？」

「んっ見えるうッ！ ふっといチンポっ…出入りしてるうッ！ あっあッああん♪」

「ふふ… じゃあ大好きな乳首もイジメてあげようねエ…ほら好きだろ？ こーやって、オッパイの先っぽクリクリくりくりされるの…」

「うんっ…きもちいいッ…ちくびっ…ツンツンってっ…ハアハア…たってきたあ♪ でもっ…こんなので本当にっオッパイ大きくなるのお？ …はんっ♪」

「そーだよ、こうやって刺激すれば、きっと薫クンの憧れる巨乳ちゃんになれるからね…」

「ああんっ！ あっ…ダメッ…チクビッ…そんなに激しくツネったらッ…あたまッ…おかしくなるううッ！」

「ふふっ、チクビ弄られて興奮したのかな？ 腰が段々動いてきたネ…自分から腰振って…オマンコぐりぐり押し付けて来て…」

「だって…今日はおっちゃんっ…ゆっくりしか…してくれないからあ…はあッ☆」

「ふふっ…この間まで処女だったのに、すっかりイヤらしい身体になって…激しく動いて欲しいの？ オマンコ、イキたい？」

「イキっ…イキたいですッ！ おまんこイキたいのおッ…はあはあ…ねっ、おねがあい…いつもみたいに もっとお… はやくうッ♪」

「ダメw 今日のもっとイヤらしくなるために、もっと自分で動いてごらん？ 私は動かないから…」

「あーっ…ダメッ…やめちゃッ…やあだあッ！」

「ほら薫クンが大人のオンナになる為なんだから…皆本クンだって、キミがスケベなテクニック身に付けたら将来喜ぶぞ☆ ほら、はやくはやく…」

「ホントに…っ…あんっ♪ こっ…こんなカンジでっ…いいのかな…あんっ♪」

「そーうそう、やれば出来るじゃないか…ほらもっと激しくッ！ 大好きな乳首、もっとコスってあげるから…ホラッ！！」

「はっはっダメッ…おっぱいスゴいッ！ チクビすごッ…ああーッ！」

「おおっ、オマンコキュって締まったぞッ！ 腰振りも速くなってきたね…ほら、もっと上下に激しくッ！ もっともっどッ！！」

「ふああッ…いいッ…コレ良いッ…自分で動くのお…すごく良いッ！ ココッ！ この角度がッ！ すごいッ！！」

「ふふ…自分で動くのも良いだろう？ 自分の一番気持ちイイ場所に擦れて…」

「うんっ…すごいッ…コレすごいッ！ いつもよりはやくッ…イっちゃううッ♪」

「普段は男勝りな薫クンが、すっかり牝(メス)の鳴き声をあげて…こんな姿、他の2人が見たらビックリするだろうねえw」

『あ…イヤあ…ダメえッ…こんなのお…んっ♪ ぜったいっ…あんアンっ♪  
見られたくないのおッ！ ハアハア…見せたらダメえッ！

ハアハア…ああんっ♪』

「こんなヤらしい声…ウソやろ…」

「あ～あ、絶対見られたくないって言ってるのに、可哀想にw」

「そんな…薫…」

『あッ…だめッ…もうッ…イクッ！！』



「うんっ…良しッ…こっちもイクぞッ！ 薫クンの子供マンコにっ…あっついザーメン  
出すからなッ！ ホラ！ 出すぞッ出るッッ！」

「あッ…あッ…イクッ！ おなか来たッ！ びゅびゅって熱いのッ！ あっつういッキタのッ！

イクイクイクイクッ！ いッ…くらうううううッ！！」



ヒッ

ヒッ

ヒッ

ニッ

グッ

グッ

ズッ

ギョッ

ギョッ

ズッ

『ん？ 葵くん何を俯いているのかな？ ほら、次は紫穂くんの動画だよ？』

「ふふ…グイグイと腰を突き出して……紫穂くんは本当にスケベだね」

「はあッ・局長…そんな事言っちゃ…ダメ…ああッ♪」

「どうせ口で言わなかったって、紫穂くんは特別にECM(超能力対抗装置)の首輪を着けてないんだから…私の思考なんて幾らでも読めるだろう？」

「ああッ♪はいッ・局長の思考…イヤらしいコト考えてるの…全部頭に入ってきますッ！」

(やれやれ、普段はキレイ好きのクセに、性器のニオイは相当キツイなw ん〜ロリマン掘る度に、くっさいマンコ臭がブンブン匂ってくるわい)

「あはッ♪アッ・いやだっ・そんなッ・嗅いだらっ・ダメえッ♪」

(ハハッ・鼻から甘い喘ぎ声あげおって…大人しそうなカオして交尾の感度は3人中一番じゃないか…この淫乱娘ッ！)

「ああッ…イヤあ…」

(ほらこっち向いて！ 顔見せろッ！ キレイな顔が快樂で台無しだぞ、このスケベッ！)

「いやだっ・あッ♪ちっがうう…あんッ♪」

(違わないんだよ！ 大口開いて、トロ〜とした目ェしやがってッ！ 中年のチンポでマンコほじられて、堪らないって顔、もっとホジってエって媚びた顔してんじゃねーかッ！！)

「そんなことッ・ないですッ…はひッ♪ひッ♪あん♪ああんッ♪」

グッチュ・ヌッチュ・クッチュ・ブチュッ！

(なら何でマンコ濡れてんだオイ！？ 身体中嬉しそうにブルブル痙攣させやがってッ！ クサマンから、真っ白なくっさいホンキ汁垂らして… 上も下もヨダレの大洪水じゃねーかッ！！)

グッチュ・ヌッチュ・ブッ！ クッチュ・ヌッチュ・ブブウッ！！

(ハハッ！ 膣ナラか！？ 感じすぎてマン尻こいちまってるじゃねーかw

ほらバックが好きなんだろ？ 動物みたいに後ろから犯されるのが大好きなんだもんなあ！？)

「ちがッ・こんなカッコッ♪イヤあ・もっとオ・もっとフツ〜のカッコでしてえ…アッ♪おねっ・があいッ・あんッ♪」

(口ではウソついたって、スケベな紫穂の身体が、バック好き、なじられるのが大好きって言ってるぞ！

ケツ穴ヒクヒクさせながら悦びやがって…このドMマンコッ！！)

「やめてッ・もうッ・首輪つけてえッ！ おまんことアタマのなかッ・両方犯されてッ・おかしくなっちゃううッ♪」

(ん〜またマンコ締まったッ・紫穂は本当に言葉責めが好きだなア… 紫穂の身体が、中年チンポで良い様に犯されて、嬉しいうれいって大喜びしてるぞッ！ ホラッ素直になれッ！！)

「あんッ・ああんッ♪はっ・はいッ… しっ・紫穂わあッ・バックで犯されるのがッ♪ヒドイ言葉でなじられるのが大好きなッ♪ドMの変態女ですッ♪もっとしてッ♪もっとなメチャクチャにしてえッ♪」

「ハハッ☆可愛いぞ紫穂…いやらしく肛門ヒクヒクさせて…そろそろアナルの調教もしてやろうか！？」

「ハイっ・おしりもおッ・アナルもイジってえッ♪ 知ってるんだからッ……」

葵ちゃんだけッ・肛門イジってあげてるのおッ！」

『葵ちゃんだけッ・ズルいいッ！ 私もッ・私もお尻の穴あッ♪  
コーモンいじってえッ♪』

「えっ！？ …紫穂ちゃん、なんで知って…？」

「ふふ…私の記憶から読み取られたみたいだね…葵くんも  
覗くだけじゃなく、覗かれちゃってたんだねえw」

「ウソっ…ハアハア…いつ・いやあだあ…」



「よーし、じゃ今度はちゃんと肛門の処女奪ってやるから、今はマンコに集中しろッ！ このドスケベッ！！」

「はいッ♪アナルのバージンもッ・奪ってッ♪スケベな紫穂の身体中ッ・メチャクチャに犯してッ♪あッ・イクッ！  
紫穂のスケベなッ！ オマンコいくうううッ！」

「クッ・出すぞッ！ 紫穂のくっさいマンコにッ！ 中出し嬉しいだろッ！ 出してやるぞッ……オラッ！！」

「あっ・うんッ・嬉しッ♪あッ・あッ・キタッ♪あッ・イクッ・あッあッ・あああああああああああッ！！！！」





「そんな……ウソやろ？ 紫穂に、ウチの秘密、知られとった……？」  
「ほら、全部見終わったんだから…次は葵クンの番だよ？ いつも通り、可愛がってあげるからね…」  
「え、また撮るんか？……イヤや、恥ずかしい…」  
「ダメだよ、みんなの成長記録なんだから、しっかり撮影しなくちゃ。ほら、ちゃんと脱いで…」  
「あ・ああ…恥ずかしっ…」  
「ふふ、もう何度も裸になってるのに… 葵クンはいつまでも初々しいねえ。他の2人に見習わせたい位だネw」  
「そないなこと…あ、ああッ♪」  
「あはは、乳首も未発達で…ペツタンコで可愛いねエ」  
「あッ・あかんッ・コリコリしたら…あかんでッ・あんッ♪」  
「そうかい？ 薫クンが乳首イジられるの見て… 羨ましそうに荒い息してたじゃないか」  
「そっ・そないなこと…あんッ♪」  
「そうかい？ 紫穂クンが甘い鳴き声あげてるの聞きながら、身体を小刻みに震わせて…太ももを合せてモゾモゾしてたのは興奮したからなんだろう？ ほら…」  
「あ！ アカンっ、下はッ、パンツは今脱がしたらあかんでっ！」  
「おほ～スゴいなこりゃw パンツからオマタまで糸引いちやってるじゃないかw」  
「だからあかんで……あッダメッ・さわっちゃ……あ！ ああんッ♪」  
「ん～んジツリして熱くて… おまたのミゾの中、エッチなよだれでヌルヌルじゃないかw うん？ そりゃそうか、仲間のハメ撮りこっそり覗いてコーフンしちゃったんだもんねエ？」  
「ちがっ・せやからコーフンなんて……」  
「ん？ コーフンしすぎて、たまらず机の角に股間押し当ててたのはドコの誰だい？」  
「なっ？ あんっ♪はあはあ… もしかして…… ずっと見てたんか？あんッ♪」  
「ああ、しばらく声を掛けずにね… 友達のセックス動画をオカズに机の角でオナニーなんて… とんだ変態娘だよネ？」  
「ひ、ヒキョウや… 隠れてこっそり見るなんて・んッ♪」  
「覗き見なら他人の事言えないだろ？ ほら、可愛いワレメちゃんコスるたび、にゆるにゆるしたイヤらしいオマンコ汁が、どんどん溢れてくるぞ…」  
「あッ・イヤッ・んッ・あんッ♪」  
「可愛い鳴き声あげて…イヤらしい、悪いコだ…ほら、ちゃんと謝りなさい、ホッホッ…」  
「えっ、ちよっハズっ、そんなこと…言われへんよおっ…」  
「イヤならバツとして葵クンの動画も皆に見せようか？ その方が公平…」  
「あッ、いやあッ！ …わかったあ…あんッ♪葵わあッ…勝手に友達のハメ撮り動画盗み見てえッ…興奮して机の角でお…おなにーしましたあ……はあはあ・葵はスケベなコおですうツハアハア・あんッ♪すけべでごめんなさいッ！ あッ！ ああんッ♪」

「よーし、良く出来たね……じゃあいつもみたいに可愛がってあげるからネ☆  
ホラ机の上に乗って…」  
「あッ・はッ……はい…」



「ほら葵くん、もっとお尻をクイツと突き出してッ！」

「あ・はあっ…もっと…こう…？」

「そうそう☆ちっちゃいお尻の真ん中で、葵くんの可愛らしいウンチの穴がヒクヒクしてるよw」

「あッ・ダメえっ・そんなトコじっくり見んといてえ……」

「ふふ恥ずかしい？ んじゃ葵くんの大好きなお浣腸行くよ～ ほらッ！」

「あッ・はあ～～あああああつ……」

「ホラ、どんどん浣腸液が入ってくよ…」

「あああああ・はあ～ッ…オシリの穴あッハアハア…おナカっ・つめたあいつ……」

「ふふっ、背中もゾクゾクするんだろ？ ちいちゃいカラダ震わせちゃってw」

「うんッ・ゾクゾクするッ…つめたいのっ・はいつてくるうッ… おっちゃん…まだあ？」

「もう少しだからガンバレ頑張れっw おーどんどん入ってく………ほらっ、終わったぞッ☆」

「あああ…」

「ん？ どうしたの？ ぷるぷる震えちゃってえw」

「あっ・だってえッ・ガクガクするう…ハアハア…  
お膝ッ・ガクガクしちゃうのおッ」

「ん～可愛いねえw ホラ、今日はこの上にするんだよ」

「えっ！？ だってそれ、皆本はんの写真……」

「イヤッ！ それだけはイヤやあッ！」

「どうしてだい？ 最近みんな皆本くんにお熱で、私も寂しいんだよ…でも、キミ達を一番に可愛がって、最初に愛したのは誰か、葵くんだって知っているだろう？」

「そりゃ… おっちゃんには感謝しとるけど…」

「葵くんは、もう私の事などキライかな…」

「そんな…そないな事あらへんよ… ふふっ、大の大人がヤキモチなんて…  
…何だか、かわいいなあ♪………ええよ…いうコト聞いたげるわ…  
ふふっ♪」



アッアッ

ムーミン

ミキミキ

アッアッ

ガルガル

アッ

アッアッ

アッ

500ml

「よお～し、葵クンの可愛い排泄シーン、もっと近くで録画しようね♪」  
「あー、近いつて！ あかんよっ・そんなん恥ずかしいって！」  
「大丈夫、他のみんなには絶対見せないから！ 私にだけは…葵クンの可愛い所も恥ずかしい所も…全部見せて。葵クンの事、一生大事にするから…ね☆」  
「あっ……うん♪」  
「ホラ、大好きな洗濯バサミでもイジめてあげるから…」  
「あっ、アカンッ！ いまソレしたらッ刺激強すぎてッ…」  
「じゃまずは乳首からっ！」  
「あッ！ ああんッ♪」  
「ほ～ら、次はクリちゃんの皮しっかりムイてっ」と…  
「あ、そっちはホントにあかんでっ…あッ・ひッ！ あッ♪ ああんッ♪」  
「おっきな声上げてっw イヤがってたクセに大興奮じゃないかw」  
「あかん・ああコレっ♪ コレすごいッ！ オナカぐるぐるしてっ・あひっ♪  
チックビすごいッ♪ クリがスッゴおイのおおッ♪♪」  
「まだダメだぞッ、ガマンしてッ！ いつもみたいに、ず～っとガマンした方が、いっぱいキモチ良くなれるんだから、ね☆」  
「ああッ♪ でもスゴッッ♪ いつもよりスゴいいいッ♪ こんなんで出したらあッ・あつまあッ・おかしくなるううッ♪♪」  
「ふふふwトロ～ンとして、いつもより、ずっと良いカオ撮れてるぞッw」  
「あッあッ♪ あっかんでッ♪ コレすごいのおおッ♪」  
「へえ… ドコがすごいのか？ 乳首？ クリトリス？ それともウンコの穴の中？」

「ああっ・わっかんないいッ♪  
チクビもマンコも肛門もおッ♪  
全部ゾクゾクしてッ・わっかんないいッ♪♪」



ブニブニ

グニグニ  
キツ  
グニグニ

ブルブル

グニグニ

グニグニ

グニグニ  
キツ  
グニグニ

ブルブル

ブルブル



「コラコラ、自分だけ気持ち良くなっちゃダメだろ？ いつもみたいに私のも気持ち良くしてごらん？ ほら啜えて、アーン☆」  
「はッ、はいっ…あ～ん…んぐッ！ くッ・くっさぁいいッ！」  
「うむ、今日は特別に洗わないでおいてあげたからねえ…しかも小便汚れに加えてさっきから私もカウパー出っ放しだったからね…どうだい？ 中年の汚れチンポの味はw」  
「モゴモゴ…んぱッ・くっさぁいいッ…こんなんイヤあッ」  
「イヤじゃないだろ？ ほら、いつも通り一所懸命しゃぶりなさい」  
「ウソッムゴッ…こんなくっさぁいいッ…ハアハアこんな臭いのツンゴッムゴッ…はあ～っ♪ あんッ♪」  
「何だ？ 逆にいつもより興奮してるじゃないかw 普段より良い吸い付き方してるぞッ」  
「チュッポッジュッポッ… ああんっ♪ そんなんうそやあッ♪」  
「ふふ… 可愛くてちっちゃなお口が、中年の汚れたチンポで犯されて…とんでもなくイヤらしい姿だねえw ほらちゃんとカメラ見てッ！」  
「んフッ！ はっ…はぁいいッ♪」  
「おおっ？ ケツ振っちゃって… どうした？ お口も胸も、マンコもケツもッ全身キモチ良くてガマンできんのか？」  
「チュッポッジュッポッ・ンッ！ あんッ・おナカッ・ぐるぐるするうッ！ ダメッ！ 出ちゃううッ！」  
「プスッ・ブプッ…… ちゅッ・ショッ・ちよろッ・しよおおお～ッ」  
「ん？ なんだい今の？ オナラと一緒にオシッコ出ちゃった？」  
「あッイヤッダメッ・見たらあかんッ… あッ！ ああんッ！」

**ブリッ！ プッス～ウツ…… ブツッ！！**  
**ムリムリイッ☆**

「ははッw 何だ！ オナラだけじゃなくてウンコもちよっぴり出ちゃったのかw ……ん～、クサッ！」  
「イヤァ・ハズかしッ・嗅いだらアカンてえッ！」  
「あ～くっせエ！ ほら出せッ！ くっさぁいの全部出しちまえホラッ！！」  
「イヤッ！ アカンッ！ 出るッ！ 出るでるウでちゃううッ！ ああッ！！」



グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル

グ  
ル

グ  
ル

グ  
ル  
グ  
ル





「アッ・はあッ・ゾクゾクするうッ♪ ずっと貯めてたのおッ・我慢してたの  
出ちゃうッ♪ おなかぐるぐるしてッ・ぶっといの出ちゃうッ♪」  
「良いぞッ、出せッ！ ションベン漏らしてッ、ブッといウンコひり出しな  
がら、肛門震わせてイッチまえオラッ！！」  
「いやんっ♪ …ムゴッ…イッチちゃうッ♪ …ツブッ…オシッコでちゃうっ♪  
ウンチでイッチちゃうッ♪ ウンコ出しながらイッチやうのおおおおッ♪」  
「オオッ・チンポの吸い付きすっごいぞッ！ イクッ！ カワイイお口に  
汚チンポ汁全部出すぞッオラッ！！」  
「あひッ♪ ダメエッ♪ ウンコでイクッ♪ ウンコでイクうッ♪」  
ブスッ！ ブッ！ ブリブリブリッ！

## 「ウンコでイクいくッ！

## あ——————ッ！！」

ショッ！ ジョロッ！ ジョオオオオオ————ッ！！  
ムリッ！ ブッ！ ブリブリブリブリ————ッ！！  
「オーッくっせえッw オラッ！ こっちもクツサイザーメン出るぞッ！  
オラッ！！」  
「ムグッ・オプッ・ウゴッ・ムゴッ… びゅッ！ ドピュッ！ ドピュピュッ！！  
…ソゴッモゴッ… うえッ！ おええええええええっ！」  
「おーら吐くなよ出すなよッ！ 全部飲めッ！ ウンコの代わりにハラん中、  
クサイザーメンでイッパイにしろッ！」  
「オウッ！ オエえッ！ ングッ… ゴクッ… ゴクゴクッ… ンパッ！」  
「おーし、良しッ！ そーだ可愛いぞッ☆ ほーら尿道の残りザーメンも  
しっかり吸ってッ！」  
「ソブッ… はあい♪ ちゅうう～っ…」  
「どうだ？ 自分のウンコのニオイは？」  
「葵のウンコお… すっごいくっさいい…チュチュッ・ちゅう～ッ」  
ぶふうッ！ すう～————ッ  
「んー？ 最後っ屁が出て、オナカの中すっかり出切ったみたいだねえw」  
「はっ、恥ずかしっ……」  
「よく頑張ったねえw イった余韻で身体中ビクビクさせて…」

「イヤあ… ウンコで… ウンコ出して… イッ… ちゃっ… たあ♪」



ドブ

ドブ

ゴボ

ゴボ

ドブ

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ゴボ  
ゴボ  
ゴボ  
ゴボ

ゴボ

ブル

ブル

ゴボ

ゴボ

「ほらご褒美だ、葵クンの大好きな、アナルセックスしてあげるからね…」

「あッ… ああッ…」

「んー、ブッといウンコひり出した直後だから良くほぐれてるねえ…よいしょと」

「ああッ！ はあああ————ッ♪」

「ほーら、チンポすんなり入ってくぞ☆ おーえらいえらい、ちっちゃな身体なのに極太チンポ、根元まで飲み込んで…」

「あッあッ・おっちゃんダメッ！ いまイッたばかりだからっおしりのなかつ敏感すぎるからあッ…

ああんッ♪ ダメッ♪ あたまッ♪ おかしくなっちゃうからあッ♪」

「大丈夫、ゆっく〜り抜き差ししてあげるからね…なに？ キモチ良くないの？」

「ちっがうッ・キモチ良すぎてえッ♪ あかんッ♪ ダメッ！！」

「おお〜にゆるにゆるしてッ・葵クンの肛門はホントに気持ちいいなア☆」

「あかんッ・あひッ♪ キモチ良い・ぐっ・こんなん…お尻の穴でえッ♪ オカシイやろお♪ こんなんじゃウチい… あんッ♪ ヘンタイになってまうからあッ♪ …ああッ！！」

「ふふ…可愛い鳴き声だなあw 葵クンのこの映像、みんなに見てもらおうかねエ？」

「ああッ・それだけはあかんよおッ！ あんッ♪ それだけは堪忍してえ あッ♪ おねがぁいッ！ ああんッ♪」

「わかったから、顔こっち向けて…ははッ可憐な肛門パッキリ拡がっちゃって…オチンポ啜えてこんなにヨがっちゃって…3人の中じゃ、葵クンが一番可愛いよ♪」

「うそッ… そんなんウソやあ… ウチだけ普通にせんと…おし・お尻の穴ばかりイジめてえッ…あんッ♪ ウチのことッ・こんなヘンタイにしてえッ…アアんッ♪」

「それは特別だから、一番大事だからだよ… だから葵クンの処女膜は大切にしたいんだ…3人の中で葵クンはまだ処女のまま…そうだろ？」

「あん♪ あんッ♪ ホンマにッ？ あッはんッ♪」

「そうさ…だからホラ、葵クンの大切な処女膜、開いて見せてごらん？」

「あッ…あはッw こう？ 恥ずかしッ…あんッ♪」

「そうそう、本当に可愛いねエ… 一生可愛がってやるぞオラッ！」

「あんッ♪ すごッ♪ ホンマにッ♪ 一生かわいがってなあ♪」

「くッ！（ケツ穴調教されてッ！ 良い様に弄ばれてるクセにッ！）カワイいなあ葵ッ！ コノおッ！！」

「あッ！ イヤやおっちゃんッ！ きゅうにッ♪ 早いいッ♪ そない激しくしたらあッあんッ♪ あかんッ・穴の中こすれてっ♪ ウチおかしくなっちゃってッ♪」

「葵がカワイイからいけないんだッ！ このッ！ このおッ！！」

「あんッ♪ ホンマにッ？ ウチッ♪ うれしいッ♪ あッ♪ でももうイクッ♪ イッてまうからあッ♪」

「うッ、こっちもイクぞッ！ 葵のスケベな肛門ッ！ くっさい尻穴使ってッ！ イクぞオラッ！」

「うっ・ウチもお♪ スケベなコーモンほじられてえ♪ イクッ♪ またウンチの穴でイッちやううッ♪」

「よし逝けッ！ 処女マンコおっ広げながらッ、ウンコの穴あ犯されてイッちまえ！ ケツ穴大好きなんだろオラッ！！」

「ウンッ♪ イクッ♪ 肛門でイクッ♪ コレ好きッ♪ コーモンだいすきッ♪

大好きなケツ穴で逝かされるッ♪ くっさいアナルでイかせてえッ♪

イクッ♪ イッちやうッ♪ イクイクイクイクッ！ あッ♪ ああッ♪

ああああああああああああんッ♪♪」



「んっこっちも出るッ！ くっさいチンポ汁ッ顔に出すぞッ」

「んっ・ええよお顔射して…くっさいオチンポの汁でッ、葵の顔ッ、お口犯してえ♪」

「うッ、出るッ！ クっさいザーメン出るぞオラッ！！」

「あ〜〜ん…うッ！ あっ！ あああッ！ …ああん♪ ホンマくっさいッ♪ ハアハア…

臭いの、たっぷり出たなあ…」

「葵のケツ穴が、気持ち良過ぎるからだぞッ」

「ハアハア…ほんまにい？ あんッ♪ うれしッ♪」

「ふふw 葵ケツの具合ほめられて嬉しいか… 葵も大好きな肛門でイかせてもらえて幸せだろ？」

「…うん♪ ウちっ♪ しあわせえっ♪♪」





紫穂:

普段は気取った態度、清楚で知的なブライドの殻も、能力を逆手に取った淫語調教で崩壊。バックや言葉責め(恥部である性器の悪臭をなじる等)を好むM気全開の彼女。今後はアナル開発や野外露出等で、真性のマゾ奴隷に飼育。

薫:

乳首イジリが大のお気に入り。スケベな好奇心は人一倍で、性行為自体には抵抗無し。自ら貪欲に腰を振る程の性欲の強さを見せる。今後うまく育てれば、他のチルドレンとの複数プレイ導入にも、責め手、協力者として利用できそうだ。



葵:

一番真面目で性知識も薄く、調教の遅れが懸念されていたが、排泄行為からの肛門姦を性快樂として刷り込む事で、自身を変質性欲者と思い込ませる事に成功。今後は他者に排泄を披露させ、モラル崩壊からの複数プレイ許容に、いよいよ移行する予定。

『ふう～ 記録整理もやっと一息か…  
しかし3人も順調に成長してくれて、  
ひと安心だヨ。  
なにせ彼女らは  
国の宝だからねエ☆』

# サイコメトラー のオナニー♡

今日はサイコメトラー  
紫穂ちゃんのオナニーを  
覗いてみよう♪



紫穂当てに毎日届く  
大量のラブレター…その中身は  
紫穂ファンクラブのザーメンが  
詰まったコンドームなのだッ



いつもは大人びた  
紫穂ちゃんが自分の体液や  
コンドームから漏れたザーメンで  
汚れた汚パンツをはいて  
コンドームまみれになりながら  
オナニーしちゃいます



コレいいッ♡

コレッ♡

サイコメトラーとは  
触れた物や人物の情報を  
読み取る能力です。

紫穂ちゃんはどうやら  
ザーメンの持ち主の  
オナネタを覗き見するのが  
ズリネタのよう…

アンツこれッ  
私がペットになって…  
ワンちゃんとセックスしてるう  
なんて下品な妄想なの♡

ンーッすごいッ！  
すごいよジョツシュ！  
オマンコ気持ちいいよッ！

お願いしますッ  
メス豚紫穂に濃厚で  
くっさ〜いザーメンを  
ブっかけて下さいっ♥

もっともっと汚してッ  
紫穂は皆様の  
ザーメン便器ですッ

駄目ッそれ以上は  
入らないッ！！

コレなんて  
すごいわ♥

ヒイイツ！紫穂の  
オマンコ壊れちゃうッ  
あああッ

ンフッコレは  
ハードね♥

ふふッコレは  
キてるね♥

ああ…紫穂  
まだ幼いののに  
こんなに肉体改造  
されちゃうの…

豚ですッ♥メス豚ですう♥  
ご主人様…もっともっと…  
紫穂を改造して下さい♥

今日はものすごいばかり♥  
ふふッ…あなたも紫穂を  
メチャクチャにした妄想を  
コンドームに詰めて送って下さい♥





☆カクガリ兄☆

2008年も半分以上が過ぎて、暑っつい夏が今年もやってきましたねえ…  
んで、ここ何年か思うのが「オレ、今年もまた水につかってねーやw」  
海とかプール好きなんですけどね。

で今回の「東京PRACTICE」ですが、こんな感じの本になりました。

作り手・送り手として思う所は色々あるんですが、まあ出来上がった以上は手を離れた物ですから、後は『座して待つ』のみ、という事で☆

今回、作業中『ポニョ』の主題歌が脳内を廻る事まわる事… スゴい耳に残りますねあのサビ。ボーカルの子供の、棒読み的な歌い方がまた何とも洗脳チック。

んでは、またの機会に…  
(ぼーによぼーによぼによさかなのこ〜♪)

☆カクガリ弟☆

さて、毎度の苦労話ですが。  
今回、この「絶対可憐チルドレン」を製作にあたりまして、作画的に頭身で苦勞しましたね〜。  
この年頃の、頭身・ボディバランスって非常に描きづらいものがありますね。  
しかも、原作・アニメ絵共に頭身が低い…。  
無論ロリーも守備範囲なあっしはどんなに頭身低くたってストライクなのだが…  
まあ、微妙な年頃を身体的にも表現できたらとも思いつつも設定画と向き合い、悶絶していましたよw

お楽しみ頂けたなら、うれしゅう御座います。

☆Staff☆  
カクガリ兄  
カクガリ弟  
(合わせて カクガリ兄弟)

☆Presented by☆  
肉りんご(Beef&Apple)

☆Title☆  
東京PRACTICE

☆同人誌印刷☆  
PICO様  
(いつも大変お世話になっております)

☆奥付☆  
(ご意見ご感想・要望・お仕事などは下記にお願いします)

☆ホームページアドレス(ブログ)☆  
<http://kgbros.blog37.fc2.com/>

☆メールアドレス☆  
kgbrosbros@yahoo.co.jp

☆注意☆  
本誌に記載する全ての図版・文章を、許可なく複製・転載・ネットで公開及びアップロードする事を禁じます



# TOKYO PRACTICE

**For ADULT only**

Presented by  
NikuRingo(Beef&Apple)

2008/08/17 In  
Summer of Comiket